

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成30年度】

2 地域子育て支援拠点事業

事業概要	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業
事業目的 (目指すべき目標)	地域子育て拠点施設や子育て支援ボランティアなどと連携を図りながら、子育て家庭が孤立しないよう地域で支える取組を進める。また、利用者のニーズの把握に努め、情報化社会の中での周知方法を検討しながら情報発信を行い、積極的な参加を呼びかける。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	市内3つの地域子育て支援センターやわくわく広場の開放事業のほか、町内会館など地域に向いて子育て支援事業等を実施し、親子の交流や保護者同士の情報交換、仲間づくりの場を提供する。様々な形態の情報提供をすべく、広報おたるや子育て支援ニュースのほか、市ホームページや市フェイスブックを活用し最新の情報を提供する。

事業費(円)		平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 予算	平成30年度 決算	平成31年度 予算	
	事業費	10,158,403	9,784,652	11,747,000	11,804,000	11,285,005	11,825,000	
	特定財源	国庫支出金	9,871,000	9,770,000	10,488,000	10,488,000	11,202,000	11,346,000
		道支出金	9,871,000	9,696,000	10,488,000	10,488,000	11,204,000	11,346,000
		その他						
一般財源	△ 9,583,597	△ 9,681,348	△ 9,229,000	△ 9,172,000	△ 11,120,995	△ 10,867,000		

※国庫補助金及び道補助金は、地域子育て支援センターの正規職員の給与・手当等の経費も含むため、一般財源にマイナスが生じているもの。

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 見込み
	開放事業実施回数	回	564	557	568	567	572
	出向き事業実施回数	回	106	105	109	107	110
	その他事業実施回数	回	114	122	120	121	120
【特記事項】		出向き事業:「げんきがまちにやってくる!」など支援センター以外の場所で実施する事業 その他事業:子育て講座や育児教室など定員制で事前申込の事業					

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 見込み
	開放事業参加組数	組	6,122	5,279	4,636	4,114	4,784
	出向き事業参加組数	組	1,035	1,115	912	703	973
	その他事業参加組数	組	667	790	809	685	855
【特記事項】		出向き事業:「げんきがまちにやってくる!」など支援センター以外の場所で実施する事業 その他事業:子育て講座や育児教室など定員制で事前申込の事業					

(A)(B)を考慮した需要量(指標)の設定及び確保方策、実績を数値で表示	需要量(指標)	月:延べ利用人数 (※保護者)					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	★事業計画策定済み★	需要量の見込み(カッコ内は年)(人)	480(5,760)	470(5,640)	460(5,520)	550(6,600)	550(6,600)
	確保方策(同上)(人)	500(6,000)	500(6,000)	500(6,000)	700(8,400)	700(8,400)	
	実績(同上)(人)	652(7,824)	599(7,184)	530(6,357)	459(5,502)		

【事業評価】					
A:事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B:事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。					
C:事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。					
事業実施者による事業評価	A	A	A	A	
小樽市子ども・子育て会議における事業評価	A	A	A	A	

<確保方策>事業計画から抜粋
本市においては、「市立保育所の規模・配置に関する計画」(平成22年12月策定)で、総合的な子育て支援の核としての役割を担う拠点施設として、銭函保育所(支援センター:あそぼ)、奥沢保育所(支援センター:げんき)、赤岩保育所(支援センター:風の子)の3か所の施設が、位置付けされています。今後も、市の関係機関のほか、「わくわく広場」など子育て支援にかかわる市内事業者やボランティア活動していただいている市民の皆さんなどと連携を図りつつ、地域から子育て家庭を支える取組を進めていきます。また、利用者のニーズの把握に努め、情報化社会の中での周知方法や、子育てに資するサービス事業の在り方を検討しながら、取り組めます。

◆平成30年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)
子育て支援センター「げんき」「風の子」「あそぼ」では、開放事業のほか出向き事業や子育て講座、つどいの広場事業「わくわく広場」でも開放事業や子育て講座を実施している。平成30年度の実績については、9月の地震によりイベントが中止になったことに加え、年少人口が減少していることも影響し、利用者が減少した結果となった。また、H27~H30の各年度毎の就学前の児童数と利用者数の比率で推移を見たところ、前年度に比べ各年度それぞれ1%前後減少しているが、近年、保育所・幼稚園でプレ保育や園開放などが盛んに行われており、保護者の選択肢が増えていることが一因と考えられる。しかしながら、事業実施回数はほぼ前年と同じ実績を保っており、参加した親子や保護者同士の交流、気軽に保育士に相談が出来る場の提供はできていたため、事業目的は達成したものと考えている。

◆平成31年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)
平成31年度から、利用者が少ない出向き事業(町内会館)の開催場所の見直しを行ったほか、年々利用者が低年齢化していることもあるため乳児を対象とする新たな事業を開催することとし、より一層子育て世代が参加しやすい事業を行い、引き続き親子が交流できる場を提供するものである。